

第4回目の愛車コーナーは、本校出身の角浦将行先生です！

教職員 & 愛車紹介

VOL. 4

「日産京都自動車大学校を卒業してから、販売会社で25年働いていました。4年前に教員として帰ってきたのですが、新型コロナが騒がしかった時期で、赴任後の三か月は学生が登校できない状況で、教員経験もなく、どのように働けば良いのか手探りで本当に大変でした。今となってはそれも良い思い出の一つですが（笑）」と、初めのうちは慣れない環境で苦労したとい



「好きな授業は『エンジン電子制御』です。教えがいを感じられるというのが理由ですね。というのも、電気系統の整備は学生のみみんなが現場に出たときに一番つまずきやすいところだと思うんです。電気の授業となると見えない壁みたいなものを作っちゃって、理解を諦めてしまう学生がたくさんいます。なので、その壁を取り除く授業づくりを意識しています。学生が理解してくれた時はやはりうれしいですね」と、どんな質問にも優しく教えて下さる角浦先生らしい話でした。



ここからは車についてのお話です！愛車遍歴や今の愛車についてお聞きしてみました。

「今までに乗った車で一番印象に残っているのは『日産 プリメーラ (P10型)』ですね。ホイールや車高を変えたりしていたので、当時はまだ彼女だったのですが、妻からは『この車の乗り心地、最悪やん。』って言われました（笑）。ちょっと変わった車だったけど楽しかったです。今は『日産 セレナ (C26型)』に乗っています。

だけど走行距離が20万kmに近づいてきたので、前から気になっていた『日産 リーフ (ZE1型)』を新しく買いました。リーフといっても普通のリーフじゃなくて、リーフNISMOなんです！校内の駐車場にとまっているどのリーフよりもかっこよく見えるのがちょっとした自慢です（笑）。見た目だけでなく走行性能もいいのでお気に入りです」と、昔の思い出も交えながら、愛車自慢をしていただきました。また、愛車と同じ仕様のミニカーを持ち、満面の笑みを浮かべながら写真撮影にも応じていただきました。



今回は以上となります！ぜひ次回もお楽しみください！！